

富士市立吉原東中学校における学校教育の未来を考える会

1 開催日時 令和3年3月23日（火）午後7時～午後8時20分

2 開催場所 富士市立吉原東中学校パソコン室

3 教育委員会の提案

○吉原東中学校を吉原第三中学校に編入する

○時期は、令和5年4月から編入する

4 会議での意見

- 早い段階で、教育委員会の案を提示してもらったことは非常に良かったと思う。しかし、これまでと違い、いきなり案を提示されたことには驚いた。
- 計画としては、少し早い気がする。中学生の頃は、子供にとっても多感な時期である。
- 2年後に編入という提案は、急に来たなという印象がある。
- 令和5年4月から統合というのは、かなりタイトなスケジュールであるので、教育委員会が、いつ、どのようなタイミングで地元の方と話をしていくのか。
- 友達も少なく、部活動がままならないというのは事実だが、生徒1人1人が何らかの役割分担を持ち、必ずスポットライトが当たるようになっているのは良い環境、良い中学校だと思う。
- 吉原東中学校の吉原第三中学校への統合は、どちらかと言えば、デメリットの方が多い。
- 吉永第一小学校生は、統合の時期によっては、中学生の途中から吉原第三中学校に通うことになる。
- 吉原東中学校がなくなってしまうのは非常に寂しいが、現実的には仕方がない。
- 吉永第一小学校の子供は、中学校に進学する時に、吉原第三中学校と吉原東中学校とに学校が分かれることになるので、寂しく感じている。このため、吉永第一小学校を吉原東中学校の中に入れてらどうかという意見を言う人もいる。穆清スポーツ団が作られることになったのは、小学生が2つの中学校に進学することが理由である。
- 吉原東中学校も、吉原第三中学校も部活動の数はそれほど多くない。やりたい種目を選べないという実情があるので、学校の規模が大きくなればその点は改善されてくるだろう。
- 吉原第三中学校の生徒数も減っていて、令和3年度はクラス数が減ることになる。もし、統合するならば生徒数が増えてくる。吉原第三中学校が245人、吉原東中が98人、合計すると334人となり、これくらいが適正規模ではないか。
- 吉永第一小学校が372人、原田小学校が329人ということで約700人、一方で中学校は両校で

330人ぐらいだから、適正規模はこのぐらいかと思う。

- 吉永地区の方で、思い出のある吉原東中学校を卒業した方が、母校がなくなるのは非常に寂しいという気持ちはよく分かる。
- 吉永地区に住んでいる子供たちが学ぶのに一番適した環境をここでしっかり考えていくことが大事なことだと思う。
- 中学校において、クラス替えは必要で、そうした環境を確保する必要がある。
- 子供たちの競い合いができるような環境にすることが大切である。
- 吉原東中の生徒にとっては、現在より大きな集団の中に入っていくということで、統合する時に、子供たちにストレスなく、スムーズに進めていけるようにすることが大切だと思う。
- 吉永地区と原田地区で小学校を統一する動きがあり、この地域には歴史的な背景がある。町内会内で大きな騒動となった。そうした過程を充分考慮し、対応して行ってほしい。地域にしっかりと情報発信をし、説明して、理解や納得してもらってほしい。
- 教育委員会からの編入統合の案を進めていくのは構わないが、しっかり対応して話を進めてもらいたい。
- 最終的には、この数字を見れば、将来的に統合しかないと思う。
- 統合した場合は、地区の東部から通う生徒は通学距離が延びるし、道路状況として交通量が激しいところや人の目の届かない経路もある。そういうことも、しっかりと考えていかなければならない。
- 穆清中学校が、現在の東中学校にあったので、穆清中学校卒業の方は母校がこの吉原東中学校だと思っている方が大半である。
- 1つの小学校から2つの中学校に分かれる等というケースはほとんどないのではないか。吉永第一小学校の児童が同じ中学校に通えるようにしてもらいたいと思う。一番大切なことは、子供たちを同じ学校に行かせたいということである。
- 子供たちが一番大事だと思う。子供たちのことを一番考えるべきだと思う。
- 話を進めるには、PTA、教育委員会で話をして、合意に達して、更に個々の町内会に説明をして理解を求めるなど、様々なステップを踏んでいかなければならない。
- 令和5年度からの編入統合の場合は、今年度中には話をまとめなければならないとはっきりと町内会に説明すべきではないか。
- 吉原第三中学校は、吉永地区の一番西端に位置している。吉永地区の東部に住んでいる方は、

場合によっては須津中学校の方が近い。そういう面からも、この提案について、反対する方がいるだろうが、そういう方の意見もしっかりと受け止めてほしい。

- 吉原第三中学校は、吉原東中学校に比べれば、規模は大きいですが、昨今の生徒数の減少の影響を受け、令和3年度は1クラス減となり、それに伴い教員数も減となる。吉原第三中学校にも少子化の波が来ており、子供たちにはさまざまなことで我慢してもらわなければならないという状況にある。
- 一番の当事者は生徒なので、学校できちんと子供たちに話をしなければならない。
- 確かな情報を、同じ内容、同じタイミングで話をしてもらいたい。
- 部活動についていえば、野球やサッカーも、吉原東中学校と吉原第三中学校と合同チームでやっている。部活動は人数が揃ってしまうと単独チームに戻ってしまう。合同チームを作るのに、吉原東中学校と吉原第三中学校と合同でやりたいという話を、事前にできたらいいと思う。
- 吉永地区と原田地区同じタイミングで、同じ情報を流さないといけない。吉永地区にだけ説明をただけでは足りない。吉原第三中学校は原田地区にあるので、原田地区にも説明をしておく必要がある。

【質疑応答】

Q：「令和5年4月に吉原東中学校を吉原第三中学校に編入統合する。」という市の方針が提案されたことについては非常に驚いている。公表していいものなのか。

A：この提案は、決定事項ではない。内容は教育委員会で検討したうえで提案していることである。

Q：平成28年度に吉原東中学校の体育館が建て替えられた。この改築という事実が、吉原東中学校の統合はないという雰囲気が急速に拡大したが、その点についてはどうか。

A：建て替えの計画は、建て替える年の2～3年前から行うが、老朽化による建物の寿命が喫緊の状況だったことから、建て替えを行った。同様の質問をまちづくり協議会会合でも受けている。

Q：体育館をどうするのかなど、跡地利用の話もある。壊してしまうのか？

A：跡地利用についてはまだ案はない。まず統合がされるということが大筋理解されて、それから地域の方々との話し合いをしながら考えていくものであると思う。体育館も改築に莫大な経費が掛かっている。折角立て直したものを数年でつぶしてしまう考え方はない。むしろ、体育館の有効な活用方法を考えていくことになる。

Q：令和5年4月から統合という話であれば、最長どれくらいまでに話し合いを終了して決定しな

ければならないのか？

A：令和5年4月からであれば、今年の9月～11月くらいまでに決定していく必要がある。令和5年4月から統合ということが本決まりになれば、少なくとも令和4年4月の前期の当初には、次年度統合されるという話を保護者や生徒に伝えていかなければならないと思う。例えば、統合が決まって、3か月後には、学校がなくなりますという話は、子供たちに心の準備をする時間がなさすぎると考える。

Q：吉原第三中学校は、原田地区の方も大勢いる。原田地区には、こうした話はしているのか？

A：まだ原田地区には基本方針の説明のみで、こうした具体的な話はしていない。まず、吉永地区に話をして、原田地区はこれから話をしていくことになる。吉永、原田地区に回覧していく。

Q：統合は令和5年4月だけれども、先んじて部活動だけは一緒にやっていくという考え方はないのか？小学校と中学校の違いは部活動だと思っている。まずは土壌を作っていくということも必要であると思う。検討してもらいたい。

A：部活動については、以前から合同チームで実施するという話があったかと聞いている。その話も方向性が決まってくれば、令和4年度に1年間かけて部活動の合同チームを作っていくことになるだろう。令和5年度という提案をしたのは、令和3年度中に決定し、令和4年度で子供たちの準備のための期間が必要と考えていることが理由である。これまでの歴史を考えると、地域の方を大切にしていかなければならないと思うが、令和5年度を目標に、吉永と原田が一緒になってみんなでいい学校づくり、いい教育環境づくりに協力してほしい。

Q：教育委員会から吉原東中学校の吉原第三中学校への編入統合の提案について、回覧板を流してもらうのが一番いいと思う。みんなが分かるように情報提供した方がいい。

A：提案内容について、かわら版のような形で回覧し、それで周知していきたい。

Q：4月にPTA総会があるので、その時に話ができればいい。保護者の方も大分心配している。

A：同じタイミングで同じ話をしていく。既に決定済み等のように誤って伝わると困る。